

国語科

教科名	国語科	科目名	古典
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身につける。		
履修学年	3年	類型	理系
単位数	3単位	履修形態	必修
教科書	古典B改訂版 古文編・漢文編 (大修館書店)	副教材等	新・要説文語文法(日栄社)・漢文必携(桐原書店)・核心古文単語351(尚文出版)

①学習の目標

- (1) 基本的な文法・句法・語彙を習得し、文章の全体像を理解できるよう、読解技能の習熟を図る。
- (2) 文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読みとり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
- (3) 古典を読み味わい、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考える。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- (2) 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- (3) まとまった文章理解につとめ、文章に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を表現に即して読み、味わう。
- (4) 古典常識の理解を深め、文章の構成を確かめたり、表現の特色をとらえたりする。
- (5) 作品の成立や評価についても探求し、日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考える。
- (6) 自ら読み取った思想や感情などについて、感じ、考えたことを文章にまとめ、発表する。

③学習に当たっての留意点

- (1) 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、音読、本文書写(必要に応じて)、口語訳、書き下し等の学習を怠らず、不明点を明確にして授業に臨むこと。
- (2) 様々な表現技巧、語句、語彙について辞書や便覧などで調べ、読解に役立てるとともに、文章成立の歴史的背景 への理解を深めること。
- (3) 授業では、予習時の不明点の解明して文章の内容を理解し、古文・漢文の語彙・文法事項の習熟に 力を入れること。
- (4) 文法事項の学習に当たっては補助教材を活用し、計画的・体系的な知識の習得に努めること。
- (5) 小テスト等にも意欲的に臨み課題等は期限を守って確実に提出すること。

④評価の観点

- (1) 「関心・意欲・態度」【関】古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
自らの国語力の向上を図るため、予習・復習をしっかりと行い、授業に関しても、その内容を積極的に理解し、自らを高めようとする姿勢が見受けられることを基本とする。様々な課題に関しても、取り組みが充分であり、自主的に質問をしたりするなど、理解しようとする態度も評価する。さらに、教材や作者に関して主体的に調べたり、発展的に学習を進めたりすることができることが望ましい。
- (2) 「読むこと」【読】古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
表現に留意して、様々な文章の内容を読み取り、内容を客観的に捉えた上で自分の言葉で説明できることを基本とする。ものの見方・感じ方・考え方を広げ、描かれた人物・情景・心情などを味わい、自らの考えを深めていく実践的な読解力の養成を目指す。さらに、難解な文章でも文脈に即して的確に読み取り、自らの考えを深めていくことができることが望ましい。
- (3) 「知識・理解」【知】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
古今の様々な文章の読解を通して、語彙・文法・表現・文学史等を理解し、今後の文章読解・鑑賞・表現に役立てられる知識として蓄積することを目指す。

⑤評価の方法

- 「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」の3つの観点で、以下の学習の状況を総合的に評価する。
- (1) 学習活動に対する取組姿勢
 - (2) 提出された課題の内容
 - (3) 定期考査、課題テスト及び小テストの結果

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など（観点項目を記入）
4	オリエンテーション 漢文1 文章	「捕蛇者説」 【唐宋八家文読本】	自ら繰り返し音読し、文語文の表現、語彙に慣れたか。【関】 語彙・語法・文法・表現の特徴などを理解できたか。【知】
5	古文1 物語	「花山院の出家」 【大鏡】 「三船の才」 【大鏡】	古人のものの見方、考え方、感じ方を理解できたか。【知】 漢文に親しみ、異なる文化の差異に着目できたか。【知】 【前期中間考査】
6	漢文2 思想	「曳尾於塗中」 【莊子】 「侵官之害」 【韓非子】	自ら繰り返し音読し、文語文の表現、語彙に慣れたか。【関】 語彙・語法・文法・表現の特徴などを理解できたか。【知】
7	古文2 日記	「町の小路の女」 【蜻蛉日記】	漢文訓読法に習熟できたか。【知】 辞書・参考資料を活用し、効果的な予習・復習に努めたか。【関】【書】
8		「土御門邸の秋」 【紫式部日記】	古人のものの見方、考え方、感じ方を理解できたか。【知】 漢詩に親しみ、異なる文化の差異に着目できたか。【知】
9			【前期期末考査】
10	古文3 物語	「葵」 【源氏物語】	自ら繰り返し音読し、文語文の表現、語彙に慣れたか。【関】
11	漢文3 史伝	「荊軻」 【史記】 （二）風蕭蕭として易水寒し （三）図窮まりて七首見る	語彙・語法・文法・表現の特徴などを理解できたか。【知】 漢文訓読法に習熟できたか。【知】 辞書・参考資料を活用し、効果的な予習・復習に努めたか。【関】【書】
	古文4 評論	「おもて歌」 【無名抄】	古人のものの見方、考え方、感じ方を理解できたか。【知】 史伝に親しみ、作中人物像に迫ることができたか。【知】 【後期中間考査】
12	読解演習	共通テストに向けた問題演習	・別途共通テスト対策問題集などを使用する。
1		・各期とも、古文単語、古典文法、漢文句形、漢文語彙等の学習を進め、小テストを実施する。	